



## 平成29年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月5日

上場会社名 ティーライフ株式会社  
 コード番号 3172 URL <http://www.tealifeir.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 植田 伸司  
 (氏名) 鈴木 守

TEL 0547-46-3459

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年7月期第1四半期の連結業績(平成28年8月1日～平成28年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第1四半期	1,737	4.0	81	27.6	81	26.5	135	173.8
28年7月期第1四半期	1,670	8.6	63	—	64	—	49	—

(注) 包括利益 29年7月期第1四半期 138百万円 (211.6%) 28年7月期第1四半期 44百万円 (498.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第1四半期	31.85	—
28年7月期第1四半期	11.63	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年7月期第1四半期	5,402	3,930	72.8	924.79
28年7月期	5,397	3,910	72.5	920.20

(参考) 自己資本 29年7月期第1四半期 3,930百万円 28年7月期 3,910百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	0.00	—	28.00	28.00
29年7月期	—	—	—	—	—
29年7月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成28年12月5日)公表いたしました「配当予想の修正(東証一部指定記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成29年7月期の連結業績予想(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,771	5.6	193	2.8	189	△2.9	191	7.0	45.15
通期	7,667	6.5	630	20.2	632	41.7	485	44.1	114.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年7月期1Q	4,250,000 株	28年7月期	4,250,000 株
② 期末自己株式数	29年7月期1Q	57 株	28年7月期	57 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年7月期1Q	4,249,943 株	28年7月期1Q	4,249,943 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、中国を始めとするアジア新興国等の景気下振れによるリスクが存在し、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ（当社及び連結子会社）が属する小売・卸売業界においては、景気回復による消費マインドの改善が期待されるものの、個人消費の伸び悩みや根強い節約志向を背景に、業種・業態を越えた競争の激化など、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループは引き続き「差別化戦略の推進・将来への布石・強固な経営基盤の構築」を経営方針として掲げ、特定市場でトップシェアを狙うNO. 1商品や独自性のあるオンリーワン商品の開発・育成に取り組むとともに、他社に無いサービス、顧客との密度の高いコミュニケーションにより、競争優位を基礎とした経営基盤作りに努めてまいりました。また、顧客獲得に向け、海外を含めた新たな販売チャネルの開拓を開始しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,737百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

損益面では、営業利益は81百万円（同27.6%増）、経常利益は81百万円（同26.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては135百万円（同173.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

#### （小売事業）

小売事業では、「ダイエットプーアール茶」・「メタボメ茶」等のリピート率の高いオリジナル商品の拡販による定期会員の確保に加え、新商品のサプリメント「チョウ活宣言 活性フローラ」のプロモーションを積極展開し、利益の確保とともに次世代商品の育成に注力してまいりました。成長を続けるEC市場については、大手モールのイベントに合わせ広告を集中展開し、モール内での自社商品のシェア拡大に努めるとともに、市場が急速に拡大している中国を中心に海外ECの展開を開始し、販路拡大に取り組んでまいりました。また、9月からコールセンターに新たな電話受注システムを導入し、効率的なプロモーションや電話対応の質の向上に努めてまいりました。

この結果、売上高は1,216百万円（前年同四半期比7.7%増）となり、新規顧客の獲得を目的とした広告宣伝費の先行投資などにより、セグメント利益は28百万円（同33.7%減）となりました。

#### （卸売事業）

卸売事業では、北欧寝具ブランド「Danfill（ダンフィル）」から、遠赤外線放射素材を使用し保温性を補強した新商品を発売したほか、オリジナルインテリア雑貨「コポーシリーズ」の品揃えを拡充し、既存ブランドの強化、他社との差別化を推進してまいりました。また、装飾品ブランド「shyness（シャイネス）」や革製品ブランド「pauch pals（ポーチパルス）」等ハイクラス商品の展開を強化し、国内での北欧ブランドの育成に取り組んでまいりました。また、小売事業で取扱っている一部商品の卸売販売を進めたほか、商品展示会への出展や独自展示会の開催により、販路拡大に努めてまいりました。

この結果、売上高は508百万円（前年同四半期比4.2%減）、セグメント利益は38百万円（同292.8%増）となりました。

#### （その他）

物流センターを活用した不動産賃貸事業では、売上高13百万円（前年同四半期比17.5%増）、セグメント利益は13百万円（同27.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、5,402百万円（前連結会計年度末比4百万円増）となりました。流動資産の増加（同12百万円増）は、主にたな卸資産が15百万円増加したことによるものであります。固定資産の減少（同7百万円減）は、主にのれんが6百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、1,471百万円（前連結会計年度末比14百万円減）となりました。流動負債の減少（同22百万円減）は、主にその他が46百万円、買掛金が43百万円増加したものの、未払法人税等が119百万円減少したことによるものであります。固定負債の増加（同7百万円増）は、主に長期借入金が24百万円減少したものの、その他が30百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,930百万円（前連結会計年度末比19百万円増）となりました。純資産の増加は、主に利益剰余金が16百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年9月5日の「平成28年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

また、当期の第2四半期末配当金及び期末配当金につきましては、それぞれ1株当たり15円の普通配当に東証一部銘柄指定記念配当の2円を加え17円とし、年間配当金の合計は34円とさせていただく予定であります。詳細につきましては、本日（平成28年12月5日）公表いたしました「配当予想の修正（東証一部指定記念配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,532,568	1,525,644
受取手形及び売掛金	823,390	826,689
たな卸資産	667,603	682,839
その他	94,464	96,556
貸倒引当金	△15,057	△16,196
流動資産合計	3,102,969	3,115,533
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,035,700	1,035,700
その他(純額)	473,170	473,996
有形固定資産合計	1,508,870	1,509,697
無形固定資産		
のれん	33,263	26,610
その他	63,427	61,714
無形固定資産合計	96,690	88,325
投資その他の資産		
投資有価証券	254,530	250,710
その他	440,514	443,949
貸倒引当金	△6,175	△6,187
投資その他の資産合計	688,870	688,472
固定資産合計	2,294,431	2,286,494
資産合計	5,397,400	5,402,027
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	178,355	222,334
1年内返済予定の長期借入金	108,329	99,996
未払法人税等	139,427	19,644
賞与引当金	48,884	84,818
役員賞与引当金	22,530	1,600
ポイント引当金	12,727	12,675
その他	428,445	475,158
流動負債合計	938,698	916,226
固定負債		
長期借入金	300,008	275,009
退職給付に係る負債	53,568	55,413
その他	194,295	225,059
固定負債合計	547,871	555,481
負債合計	1,486,570	1,471,707
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	356,625	356,625
資本剰余金	326,625	326,625
利益剰余金	3,225,584	3,241,958
自己株式	△34	△34
株主資本合計	3,908,799	3,925,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,031	5,145
その他の包括利益累計額合計	2,031	5,145
純資産合計	3,910,830	3,930,319
負債純資産合計	5,397,400	5,402,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成27年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成28年10月31日)
売上高	1,670,896	1,737,398
売上原価	615,018	588,894
売上総利益	1,055,877	1,148,504
販売費及び一般管理費	992,360	1,067,431
営業利益	63,516	81,072
営業外収益		
受取利息	640	693
受取配当金	163	33
為替差益	1,137	—
デリバティブ評価益	—	7,532
その他	2,293	5,039
営業外収益合計	4,235	13,298
営業外費用		
支払利息	209	188
投資有価証券評価損	2,042	—
上場関連費用	—	7,500
為替差損	—	5,050
その他	1,123	204
営業外費用合計	3,374	12,942
経常利益	64,377	81,429
特別利益		
固定資産売却益	—	13
補助金収入	—	95,512
保険解約返戻金	8,004	—
特別利益合計	8,004	95,525
特別損失		
固定資産除却損	—	519
特別損失合計	—	519
税金等調整前四半期純利益	72,381	176,435
法人税等	22,940	41,070
四半期純利益	49,441	135,365
親会社株主に帰属する四半期純利益	49,441	135,365

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成27年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日)
四半期純利益	49,441	135,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,996	3,114
その他の包括利益合計	△4,996	3,114
四半期包括利益	44,445	138,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,445	138,479
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年8月1日至平成27年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	卸売事業	合計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,129,233	530,563	1,659,796	11,100	1,670,896	—	1,670,896
セグメント間の内部売上高又は振替高	104	6,945	7,050	—	7,050	△7,050	—
計	1,129,337	537,509	1,666,846	11,100	1,677,946	△7,050	1,670,896
セグメント利益	43,706	9,852	53,559	10,265	63,824	△307	63,516

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△307千円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年8月1日至平成28年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	卸売事業	合計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,216,047	508,310	1,724,358	13,040	1,737,398	—	1,737,398
セグメント間の内部売上高又は振替高	604	4,371	4,975	1,140	6,115	△6,115	—
計	1,216,651	512,681	1,729,333	14,180	1,743,514	△6,115	1,737,398
セグメント利益	28,957	38,701	67,659	13,116	80,775	296	81,072

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額296千円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。